

熱 視 線

# 伝統継承へ1000件目指す

## 「特定金澤町家」認定制度がスタート



彦会長（NPO法人金澤町家研究会理事長）

は「将来的には1000件程度をイメージし、これから進めていく」と伝統的建造物の継承へ意欲を示した。

金沢市内に残る町家のうち、特に保存が必須なものをも「特定金澤町家」として市が認定する制度がスタートした。検討部会の川上光

現在、金澤町家は市内に約6000軒存在するが、年間約100軒のペースで取り壊さ

れている。同制度はそうした貴重な歴史的遺産を守ろうと、建築や街並み、歴史伝統文化の3つの基準で重要な建物を登録し、保全と活用に努めていく。

第1弾には笠市町の

町家（旧紙谷漁網店）など23件が登録された。16日に町家の所有者に通知書とプレートが交付され、山野之義市長が現地を手渡した。

川上会長は制度の趣旨や選考理由を説明し、「維持管理などに多額の費用が掛かるが、継承活用していくことが大切。我々も支援して守っていきたい」と想いを語った。

## 川上光彦検討部会長